

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスcolor 樋井川教室		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の主体性を尊重する関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前まで個別支援計画は主に管理者が作成していたが、より細やかな情報を集めるために、スタッフ全員で話し合って個別支援計画を立てている。</li> <li>・一人ひとりがバイステックの7原則や応用行動分析を理解し、意識しながら支援をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部のイベントに参加したことはないが、公園や公共施設へ行った際には、地域の方々と関わる機会がある。イベント等に参加したい児童がいれば、対話を重ねて実現する。</li> </ul>
2	応用行動分析や根拠に基づく関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Slack上の研修チャンネルで意見交換して理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップを目指し、意欲的に研修に参加する。スタッフ同士の交流の場を設け、定期的に意見交換する。</li> </ul>
3	ご家族が置き去りにならない関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の困り感やなぜその支援を行う必要があるのかを伝え、保護者様が安心して任せられる支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前伺った状況から変化はないか、困っていることはないか等、定期的にヒアリングをする。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間の中で時折予想外の出来事が起こることがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場に虫が発生することがある。水が冷たいため、手洗いに積極的に取り組めない児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内に虫が発生させないよう壁の穴を埋める、給湯器を設置する等の対策が必要。</li> </ul>
2	保護者会について定期的に開催していることを知らない保護者が多かった	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント系(お子様と保護者様と一緒に何かをして遊ぶ)はあまりしないが、あそびてミーティングを定期的に開催し、保護者様に開催日をお伝えしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様とのイベント(遠足、夏祭り等)をご希望の場合は支援方針によってはイベントを行う必要性を明確にする必要がある。児童にイベントが必要であれば視野に入れる。基本的に将来の自立に向けた支援を行うため、保護者様が現在困っていること、不安に感じていることを主に解決する場を設けている</li> </ul>
3			